

つなぐ決意



記者席

○…慰霊の日の前に、戦時遭難船舶の犠牲者を悼む「海鳴りの像」の清掃活動に参加した喜友名智子県議（おきなわ新風）。父方の親族が「嘉義丸」に乗船し犠牲となったことから、慰霊祭には毎年出席している。今年は初めて清掃活動に参加。各遺族会が高齢化する中、清掃に参加したことで「慰霊碑の維持管理といった課題を再認識した」とうなずく。「来年は息子も連れて行きたい」と、次世代につなぐ決意は固い。